

●平成 26 年度●

# 予算編成方針

平成 26 年度当初の予算編成にあたっての方針を発表します。なお、本予算は 3 月議会において慎重審議されます。  
【問い合わせ先】財政課（☎ 82-1131）

## 予算編成にあたって

平成 26 年度の状況を見てみますと、税収の一部回復が見込まれるものの、歳入における一般財源総額は、ほぼ横ばいの状況と予測されます。歳出につきましては、人件費・公債費などの義務的経費が減少傾向にあり、一定の行財政改革による効果が見込まれる一方、幼稚園就園奨励費、老人保護措置費等の扶助費や下水道・介護保険・国民健康保険等の特別会計への繰出金は依然として増加傾向にあります。また、新市誕生 10 周年という節目の年を迎える中で、合併特例債を活用した大型建設事業にも引き続き取り組んで参ります。

予算編成にあたりましては、担当部局における創意工夫のもと、引き続き経費の節減と効率的な予算配分により、経常的経費を抑制するとともに、行財政改革による義務的経費圧縮により、政策的経費の財源確保を図りました。加えて、施策については、事業の「選択と集中」を徹底し、健全財政の堅持に努めています。

政策的経費につきましては、防災・減災・消防力の強化など、安心・安全な地域社会の基盤づくりに重点を置いた予算配分を行うと同時に、少子高齢化対策、地域医療の充実、産業活性化や都市基盤づくりに繋がる施策、文化・スポーツや本市誕生 10 周年記念事業をはじめとするイベント施策など、市民生活の向上・住み良さの実感に直結する諸施策の展開を図ることとしています。

また、合併特例債を活用した事業につきましては、新ごみ処理施設の整備、新病院の建設、厚狭地区複合施設の整備等に引き続き取り組むほか、新たに新火葬場および学校給食施設の建設に着手して参ります。

予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という理念に基づき、職員一同、努力して参りますので、市民のみなさんのご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。

山陽小野田市長 白井 博文